

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)	課名	下水道課 下水道工務G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財	会計 14:公共下水道事業会計
	基本施策	03:上下水道の充実	務	款 資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進	科	項 01:建設改良費
戦略プロジェクト	-	目	目 01:管渠整備費	
事業予定期間 H 29 ~ H 47 年度 主な根拠法令要綱等 下水道法、都市計画法				

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	公共下水道区域拡大による多額の投資的経費や施設の維持管理費等の増加が見込まれることから、ライフサイクルコストの低減及び更新時期の平準化により施設の延命化を図り、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、適切な維持管理に努める。
概要	下水道管設置後、特に年数が経過しているみどり町及びみずほ台の一部について、平成28年度に実施した管路状況調査を踏まえ、管更正工事及び布設替工事を施工する。	

③ 事業の計画・実績		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
		年度計画	○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式		○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式		○管更生工事 一式 ○布設替工事 一式
年度実績	○管更生工事 L=477.1m ○布設替工事 L= 83.2m						
事業の計画・実績	計画額	事業費	60,000千円	60,000千円	60,000千円		
		国庫支出金	23,400千円	23,400千円	23,400千円		
		県支出金					
		地方債	32,940千円	32,940千円	32,940千円		
		その他					
	予算額	事業費	60,000千円	60,000千円			
		国庫支出金	25,000千円	25,500千円			
		県支出金					
		地方債	32,000千円	31,400千円			
		その他					
	決算額	事業費 ①	57,689千円				
		国庫支出金	25,000千円				
		県支出金					
		地方債	32,000千円				
		その他					
人件費	一般財源	3,660千円	3,660千円	3,660千円			
	一般職員	7,679千円					
	所要人員	1.00					
	臨時職員等	0千円					
総コスト(①+②)		65,368千円					
受益者負担率		0.0%					

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	整備率	計画値	24	71
			各年度末の整備率 (各年度整備延長/H32までの整備延長)	実績値	26	
				単位	%	%
②	名称		計画値			
			実績値			
			単位			
③	名称		計画値			
			実績値			
			単位			

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおりに工事発注を行い、H32までの計画整備延長2,100mに対し、540mの経年劣化による破損管改築を年度内で完了できた。 しかし、工事期間中に地域住民の工事に対する理解を得るのに時間を要し、当工事後に予定していた舗装工事に遅れをきたした。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 計画指標である整備率について目標を達成することができ、ライフサイクルコストの低減等、適切な施設維持管理に寄与した。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 計画どおり年度内での工事完了はできたが、工事施工時に地域住民の協力を得るのに時間を要し、工程に一時遅延をきたした。 みどり町・みずほ台での長寿命化対策には多額の事業費が掛かることから、下水道渠長寿命化計画に基づき長期的に実施していく必要がある。 H30年度以降も工事を実施していくうえで、地域住民の方々の工事についての理解を深める必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 工事着手前の地元説明会、回覧等による工事の説明を丁寧に行い、地域住民の理解を得られるようにする。 また、多額の事業費について、国庫補助金、企業債の活用等、資金計画を十分検討しながら進めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 工事を円滑に進め、地域住民の方々への交通障害等の負担を軽減して事業進捗を図り、適切な維持管理と持続可能な事業を実現する。	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 黒田 康史
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 松尾 敏